

講義科目	: 都市計画論	単位数	: 2
担当	: 小野寺 一成	学習形態	: 選択科目 建築士指定科目
		実務経験	: 有

講義の内容・方法および到達目標

都市計画の歴史を知るとともに、都市計画の目的、計画策定過程、計画における考え方及び手法などの講義を理解した上で、都市計画の具体的な内容や手続きに関する基礎的知識を身に付けることを目的とする。また、都市を形づくる建築形態規制、地区計画、景観計画、防災計画などの講義も理解するとともに、広域都市計画の必要性や住民参加のまちづくりなどに向けた、今後の都市計画の課題を考察できる知識を身につけることを目標とする。

授業計画

第1回	ガイダンス：講義内容、講義スケジュール、都市計画概要
2回	都市計画とは
3回	都市及び都市計画の歴史
4回	都市計画マスタープラン、コンパクトシティ
5回	住宅地、商業地、工業地等の土地利用計画
6回	道路、公園など都市施設整備計画
7回	市街地整備事業計画
8回	講義前半のまとめと中間試験
9回	アジアのまちづくり、アジアの都市居住
10回	地区計画
11回	景観計画
12回	防災計画
13回	住民参加と都市計画
14回	今後の都市づくりと都市計画の課題
15回	全講義のまとめと確認

※なお、授業の進捗状況によって、内容を変更することもありえる。

教材・テキスト・参考文献等

- ・基本的には、Power Point を使用した講義。ppt資料などを配布。
- ・テーマによっては、DVD 教材などの視聴覚教材の利用を予定。

成績評価方法

- ・中間試験(35%)、定期試験(55%)、講義後小レポート(10%)をあわせて評価。
- ・1/3を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

実務経験

- ・都市計画事務所等に勤務し、総合計画、都市計画マスタープラン、住環境整備計画、地区計画、公営住宅統廃合計画などを策定したほか、住環境整備事業や公営住宅建替事業等に参画。授業では、これらの実務経験を活かした実践的な調査研究、計画・設計力の養成に努める。

その他

- ・授業の最後に、当日行った講義の重要なキーワードの回答を求める簡単な講義後小レポート(A6判)を予定。